

通事一員 林茂

人伴二十一名

国王附搭の蘇木八千斤・胡椒一千五百斤・番錫五百斤

成化十一年（一四七五）八月二十六日

右の符文化は長史梁応及び通事林茂等に付し、此れに准ぜし

む

謝恩等の事 符文

注\*この入貢については『明実録』成化十二年三月戊申、三月己未の条に記事がある。また梁応らの上奏文（二二二二）（二二二三）がある。

1-23-10

国王尚円の、皇帝と皇太子への慶賀のため正議大夫程鵬等を遣わす符文（一四七六、九、一五）

琉球国中山王尚円、慶賀の事の為にす。

今、特に正議大夫程鵬・使者泰覧等を遣わし、表箋文各一通を齎捧し、寧字号海船一隻に坐駕し、馬二十五匹・硫黄二万斤並びに鍍金銅結束黒漆沙魚皮靶螺鈿鞘腰刀二十把・鍍金銅結束螺鈿靶鞘劍二十把を装載し、京に赴き御前に進賀し、其の鍍金銅結束黒

漆沙魚皮靶螺鈿鞘腰刀二把・鍍金銅結束線紮<sup>①</sup>黒漆鞘腰刀二十把・鍍金銅結束螺鈿靶鞘劍二十把もて京に赴き正位東宮に進賀し、仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遅滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文化は須らく出給に至るべき者なり。

今開す 赴京の

正議大夫一員 程鵬

使者三員 泰覧 延濃庇 紀比理

都通事一員 蔡曦

人伴二十二名

国王附搭の蘇木五千斤・胡椒一千五百斤

成化十二年（一四七六）九月十五日

右の符文化は正議大夫程鵬及び都通事蔡曦等に付し、此れに准ぜしむ

慶賀の事 符文

注\*この入貢については『明実録』成化十三年三月壬申の条に記事がある。

（一）紮靶 紐などを巻いたつか。原文では扎靶。扎は紮と同字であり、訳注本第二冊では紮に表記を統一した。